



元気とタイムリーな情報を提供する

五十嵐レポート

発行:「町コン」五十嵐 勉 2025年09月01日 第1232「週刊五十嵐レポート」

2040年問題

「2040年問題」というのがある。団塊ジュニア世代(1971~1974年生れ)が65歳以上の高齢者になる時期が2040年前後。人口ピラミッドの変化が最も急激に進む時期。働き手世代(15~64歳)の人口が大幅に減少、業界によっては、人材不足が深刻になり経済活動の維持が難しくなる可能性がある。

帝国データバンクによると、2024年全国の休廃業・解散件数は6万9019件で過去最多。廃業が増えている原因は、代表者の高齢化と後継者不足、それと業績の悪化、経営環境の悪化。(倒産は10,006件)

ある業界では全体の市場が縮小傾向にある。仕入先や得意先も小規模企業では社長の高齢化と後継者がいないことが多々ある。ある会社の社長は、廃業する仕入先や得意先の機械や従業員を引き取る。決してM&Aではない。機械は処分する場合、費用がかかる。それを安く買い取る。機械を操作できる従業員をそのまま引き受ける。販売先も引き継ぐ。少ない資金で垂直統合をしていく。急がない、廃業するのを待つ。業界市場は縮小するが、この会社の業容は拡大していく。視点を変えると縮小の業界がバラ色になる。

8月31日付朝日新聞、「介護と仕事」の記事の中に、父親を介護するようになった。ケアマネジャーに相談すると、「ヘルパーが不足しており、夜の介護はできません」と言われた。そこで頼ったのが介護保険「外」サービス。保険外サービスは深夜なども利用しやすく、制約の多い保険サービスより幅広いサービスを受けられる。しかし、全額が自費負担となる。

ここで一つの疑問がある。介護保険サービスでは人材がいないのに、保険外サービスにはなぜ人材がいるのか。介護保険サービスは「低報酬」「規制が厳しい」「負担が大きい」ため離職・人手不足が深刻。保険外サービスは「高単価(価格を自由に設定できる)」「柔軟」「負担が軽い」ため人材が集まりやすい。なるほど。2024年の介護事業者の倒産・廃業・解散は784件で7割以上が訪問介護事業者。

2040年問題は人口動態に基づく、変化。外れることはない。その中で対策はある。バラ色になるか、灰色になるか。本人次第。

ちょっと
気になる出来事

8月29日付朝日新聞、「オピニオン」に外国人の投稿があった。

「私は日本で暮らし働く外国人の一人で、ベトナムから来ました。2017年来日し、新聞配達をしながら、日本語学校、専門学校で学び、就職しました。(中略)

現在、日本は少子化による深刻な人手不足に直面しています。その中で、私たち外国人が技能実習生や技術者として来日し、日本人の若者があまり望まないと言われる農業、介護、建設などの現場を支えています。日々まじめに働き、法律を守り、日本人と同じように納税し、社会保険料を払っています。

にもかかわらず、偏見や排外主義が、政治の場、リーダーの口から公然と語られることは誤解、差別、偏見や社会の分断を助長し、日本の多様性や国際的な信頼さえ損なうと思うのです。(中略)日本が出身や国籍に関係なく人権と尊厳を守り、共に生きる社会であって欲しいです。」

私と親交のある外国人はみな投稿された人と同じで、まじめ。わずかな心無い外国人のために迷惑をこうむる。(日本語の文章がすばらしい)



一口メモ
知識

努力と精進

自分よりすぐれた人物を見たら、ひがんだりせずに、自分もあなろうと発奮することだ。

逆に、劣った者を見た場合には、侮らずに、自分にも同じ欠陥がありはしないかと反省してみることだよ。

子曰く、賢を見ては斉(ひと)しからんことを思い、不賢を見ては内に自ら省みる。

「高校生が感動した『論語』」(祥伝社新書/佐久協)より

- 「戦略社長塾東京」小岩校 毎週日曜日・水曜日 午前10時~12時
- 「戦略社長塾東京」銀座校、武蔵村山校、豊岡校 開講中。

㈱五十嵐コンサルティングオフィス 〒133-0051東京都江戸川区北小岩6-21-5
TEL03-3659-7703 Fax03-3659-7077 info@igarashireport.com

